

柴田町新図書館基本設計説明会について（報告）

- 日時 令和7年1月18日（土）14：00～16：00
- 場所 柴田町保健センター4階 多目的ホール
- 参加者 40名
- 質問者 18名
- 主な質疑応答概要

質問項目	質問内容	当日回答 【再検討結果】
1 新図書館全体について	（1） 議員の方たちが消極的になっているというのは、この最重要プロジェクトを否定していることになると思うが、もう一度議員の方たちに、町長から強く言うべきではないでしょうか。	① 議会には、都市構造再編集中支援事業を活用した中で、新図書館の建設費として13億5000万円を認めてもらっています。しかし、社会保障や人件費、子どもの医療費が伸びている一方でさらに加えて、一般財源で対応する道路整備や学校給食費の無償化、带状疱疹ワクチンへの補助金などの要望がどんどん増えてきているため、議会の方でも、「新図書館よりも、地域生活環境の整備を優先すべきでないか」という意見が高まってきました。 ② 「13億5000万円を超えない範囲であれば認めます」ということで議会を通していただいているが、物価や労務単価の高騰により、13億5000万では1,300㎡程度の図書館しか建てることができない状況になっています。 ③ 1,500㎡程度の図書館を建設するには、まず1億9000万の増額分を国に認められること、さらにその半分の9500万の一般財源の増額分を議員の皆さまに認めていただくことが必要となります。 ④ 議会がプロジェクトを認めた、認めないということは関係なく、議員の中には「新図書館よりも、住民が要求する生活環境の整備や子育て支援を優先すべきだ」というのが議会の多方の考え方だと私は思っています。
	（2） 新図書館の建物が情報交流の拠点なのに地味で色にわくわく感がなく、「倉庫みたいだな」と感じた。お金がない中でも人を集める工夫が感じられない 10何億かけて今後50年とか使う施設なので、将来を見据えて、改修しやすい仕組みにしておくのがいいと思うので、そのあたりを考慮した設計などできないのでしょうか。	① 色彩等については、まだ内装が決まっていないので、今後、色や素材については、活気が出るような施設になるよう検討します。 ② 今後50年以上使う建物として考えるときに、こういった施設の整備がいいのかということですが、1つの大きな考え方として、設計者からは「大きく建物を3つのゾーンに分けて計画していました」とお話しさせていただきました。この3層構造に関しては、将来的には変わらないと思いますが、そのゾーンの中の作り方は、時代とともにどんどん変わっていくと思います。 ③ そのため、今回の設計の中で考慮した点は、各ゾーンの中ではできるだけ壁を作らないで、内部空間は、床の仕上げ材の材質や色、天井の高さ、照明の使い方などを変えることで違う雰囲気的空間を作り、その雰囲気に合った機能を配置することを考えています。そうすることで、今後時代の変化があっても、その雰囲気に合った機能を再配置していただければ、長く使っていける図書館になるのではないかと考えています。

質 問 項 目	質 問 内 容	当 日 回 答 【再 検 討 結 果】
	(3) わくわくする図書館にするために新しい図書館は何を一番アピールしたいのか。	新図書館、しばたの郷土館の再構築、そして、みんなの広場といったエリア全体の中で、緑に囲まれた中での新図書館を考えていくことが、この図書館のポイントになってくると思います。今後、この基本設計を進めていく中で、もう少し具体的に表していくことができると思います。
	(4) 人の流れが変わり、図書館のレイアウトを変えたいときに、図書館の棚が移動できるなどのような工夫があれば大きなお金がかからずにレイアウトを変更できると思いますがいかがでしょうか。	一般図書エリア、児童書エリアの本棚のしつらえを統一することで、書架を移動することなく、本のレイアウトを変更することができるよう工夫しています。
	(5) 新図書館の防災対策等について、どのような設計上の工夫をしたか。また、非常口はどの位置に予定されるのか教えてください。	① 今回設計する新図書館は、災害等があったときに住民が避難する避難所に指定する予定はないとのことなので、避難所を想定した災害対策は計画しておりません。地震等による停電などは考えられますので、北側に彩光・排煙の窓を設置しています。 ② 非常口は、規模が大きい建物や高い建物では、避難専用の扉や階段などが設置されていますが、それは建築基準法に基づいて設置されているものです。 ③ 今回の新図書館の大きさにあてはめると、風除室1，2という出入口から各スペースまでの避難距離が建築基準法に定められている数字より小さい数字になっているため、この出入口を避難口とする計画です。
	(6) 閉架書庫や思源閣、齊藤博記念文庫など、普段立ち入れない部分にどのような蔵書があるのか確認できる手段はあるのか。	図書館には利用者用の蔵書検索用端末というものがありますので、閉架書庫の本については、そちらで検索できるようになっております。
	(7) 柴田町図書館で近隣自治体の図書館の図書の貸し出しなどはできないでしょうか	「この本を読みたい」とリクエストいただければ、柴田町図書館を通して日本全国どここの図書館からでも取り寄せて貸出することが可能となっていますので、カウンターにご相談ください。
2 新図書館内の配置等について	(1) おはなしコーナーは、壁で仕切られている部屋のように見えるが、おはなしに集中できない子やちゃんと聞きたい子もいる。壁で仕切らないほうが出入りしやすいのではないかな。	① 部屋にするか、扉をすべてなくしてオープンな空間にするかは、内部でも議論しました。読み聞かせをするにあたっては、壁がないと読み手の声が届きにくくなってしまうのではないかという懸念があるため、今回の計画では、部屋のようなスペースを想定しています。 ② 閉鎖された空間が苦手なお子さんや扉があることでお話室に入りにくくなってしまふことがありますので、そういったハードルをなるべく取り除けるようなしつらえにしたいと考えています。
		【再検討結果】 おはなしコーナーについては、より子どもが入りやすく、お話を聞きやすくなるように再検討します。

質 問 項 目	質 問 内 容	当 日 回 答 【 再 検 討 結 果 】
	(2) CD や DVD の貸し出し、本に DVD が付属されている場合の貸出について考慮されているのでしょうか	① 現在の図書館は小さい図書館ですので、CD や DVD の貸出スペースが取れないため、貸出しを行っておりません。 ② 新図書館の計画においては、音楽や映像はサブスクのサービスを利用して、映像とかを自由にご覧になれるような時代になっていますので、そういった CD や DVD コーナーに場所を割くよりは、図書コーナーを広く取っていきたいと考えています。 ③ 雑誌や書籍に付属している DVD 等については、著作権法の関係で、図書館では映像資料の貸し出しが出来ないことになっています。
	(3) 郷土資料コーナーの蔵書は何冊になるのか。 また、古文書の扱いはどうなるのか教えてほしい。	① 現在の柴田町図書館で郷土資料として扱っている資料は、800 冊から 900 冊という大変少ない量になっています。新図書館では 2000 冊前後で計画を進めているところです。 ② 新図書館としては、あくまでも歴史を調べるための入口として郷土資料コーナーを設け、より深く調べたいという方は同じエリア内にしばたの郷土館があるので、学芸員とじっくりと調べていただけるようにつなげていければいいと考えています。 【 再検討結果 】 新図書館、新まちづくり推進センター、新しばたの郷土館が連携した中での様々なサービスや支援ができるよう、(仮称) 事業調整連絡会議等を設置する計画です。
	(4) 日下氏の貴重な古文書等を寄贈していただけることになっているが、それはどの辺に配置されるのか。思源閣の学芸員は忙しいため、古文書の相談などをする際は予約等が必要になると思うがいかがでしょうか。	① 日下氏から寄贈いただく資料に関しましては、郷土資料として思源閣で保管が必要なものなのか。一般の方が利用していただけるように図書館の資料として置くのが妥当なのかどうかを、現在学芸員が内容の精査を行っております。 ② 貴重な資料に関しましては郷土館で保管し、歴史を調べるにあたって重要な資料に関しましては、新図書館の中でも利用できるようにしたいと考えています。
	(5) タブレットやパソコンの持ち込みは可能か。 集中できる机や椅子があると、長い時間、勉強したいと思うような図書館になるのではないのでしょうか。	① 新図書館には静かなエリアの中に、学習室兼研修室の設置を検討しています。図書館のイベントで使うような場合は研修室として利用し、イベントがない場合は、普段皆さんが自由に利用いただける学習室として利用することを検討しています。 ② その他にも、カウンター席や窓際の席などで図書館の本を読んだり、パソコンが使えるような席なども用意しますので、そういったところでも学習をしていただけるよう検討しています。 ③ また、ヤングアダルトコーナーに隣接して、グループ学習スペースというものも検討しています。こちらは主に中高生を対象に、友達と相談し合いながら勉強できるようなエリア、また中高生がいないような日中の時間帯には、一般の大人の方も自由に利用できるようなものを検討しています。 ④ さらに、小学生が授業や夏休みの宿題などのために訪れた際には、調べ学習コーナーということで、児童コーナーの中ほどにも机などを設置して、図書館の本を使いな

質 問 項 目	質 問 内 容	当 日 回 答 【 再 検 討 結 果 】
		がいろいろ調べ学習ができるようなエリアを検討しています。 ⑤ なお、パソコンの持ち込みなどに関連して、新図書館は全館に Wi-Fi を導入する予定としていますので、そちらを使いながら調べものなども自由にできるように検討しています。
	(6) 図書館内の飲食についてはどのようになっているでしょうか。全館で可能なのか、それともスペースが設けられるのでしょうか。	① 本があるエリアにおいては、蓋つきの飲み物の持ち込みは可能とすることを検討しています。 ② 情報交流スペースにおいては、飲食はすべて可能ということで検討しています。
	(7) 1枚目のイメージパースで小さな部屋がいくつかあるのですが、名前がついてないところの説明をお願いします。 せっかく眺めのいい場所をトイレで塞いでしまって、一般書架からは外が全然見えない状態はもったいないと思います。郷土コーナーや機械室に近いところとか、もう少し場所を考えて広く感じられるような位置がいいのではないのでしょうか。	① 事務室・管理室とまとめて表記していますが、実際には事務室や管理室の中に、例えば、更衣室や職員のトイレ等細かい部屋がたくさんあります。ただ、今の時点で、このパースの中では表記されていないだけで、トイレの中も当然男子と女子に分かれています。実際には、この中にもたくさんの間仕切りがあるというようにお考えいただければと思います。 ② お話コーナーの上側は、お話コーナーのための家具等を収納するスペースを確保しています。 ③ 子育て情報コーナーのすぐ上の四角は、子ども用のトイレであるとか、授乳室のスペースです。 ④ 機械室の隣の部屋は、ボランティア室や対面朗読室が入る予定です ⑤ 学習室、研修室のすぐ上の空間は、椅子と机を収納するスペースです。 ⑥ その隣の小さいスペースは、EPS と呼ばれる電気盤などを設置するスペースになります。 ⑦ 風除室1のすぐ上の黒く塗りつぶされている部分は、自動販売機やロッカー、返却ポストの部屋です。 ⑧ トイレの位置については、情報交流エリアに来られた方が図書館の中には入らなくても利用しやすい手前のスペースに配置したものです。 【 再検討結果 】 トイレの位置について、図書館内からの眺めを遮らないような場所に移動することを再検討します。
	(8) 外がよく見えるように設計してあると説明がありましたが、児童書コーナーから外が見えないような壁があるのはいかがなものでしょうか。	今回のパースを見ると壁のようになっていますが、ガラス張りにするよう、現在検討しているところでした。 【 再検討結果 】 児童書コーナーから外の景色が見えるように再検討します。

質 問 項 目	質 問 内 容	当 日 回 答 【再 検 討 結 果】
3 しばたの郷土館、齊藤博 記念文庫等について	(1) 現在の図書館にまちづくり推進センターが入った後は、今後、活動しているサークルなり、教室なりはどこで活動したらいいのか、何か計画などありますか。 図書館と郷土館の間に道路があって、楽しそうに子どもたちが遊ぶイメージですが、道路の幅を広げる計画があると伺っているので、ここの安全面をどのように配慮していただけるのでしょうか。	① 現在ご利用いただいている団体の皆様にはできるだけ不自由にならないように、今後、各室の調整等をさせていただきます。 ② 現在は3メートルから4メートルぐらいの非常に狭い道路ですが、車がお互いにスムーズにすれ違える6メートルぐらいの幅に拡幅します。 ③ 今回のイメージパースでは郷土館の北側は築山であったり、ベンチなんかが描かれていますが、こちらの方は、今後、新図書館の設計と並行して山下設計の方で、改めて設計を進めていきます。 ④ 現在は図書館の屋外空間と同じようなイメージで、暫定的に絵を書かせていただきました。 ⑤ ご質問にあったように、前面が道路に接していますので、例えば、子どもが道路に出てしまうというような危険性がありますので、その辺も考慮して、郷土館の北側の広場空間については改めて設計していきます。
	(2) 隣の郷土館に子どもの遊び場を作ってにぎわいを作るという説明を11月の懇談会で聞きました。紫波町のオガールプラザを見に行った時に、図書館の敷地内で産直をやっていてとてもにぎわっていました。町長さんは子ども遊び場を作って賑わいをつくるとおっしゃっていましたが、町長さんの言う賑わいとはなんのでしょうか。 懇談会は3年ぐらい続けて、そして今日も説明を受けました。町長さんの一番初めのお話が、お金がないから始まるので、聞いていてワクワクするはずがありません。この間、気仙沼市はふるさと納税で100億以上集まった、隣の角田市では何10億集まったと聞きました。皆がもう少し我慢すれば、「何とかなる」、「いろんな事業ができるようになる」というような、例えば、ふるさと納税の施策なり、何か新しいことを今考えていらっしゃるのか、その2点をお尋ねしたい。	① 今回の構想の出発点は、若い人たちが、しばたの郷土館に来たことがないということでした。「今までふるさと文化伝承館に入ることがない人たちにもこのエリアに来てもらいたい」「新たな人の動きを作りたい」ということで企画提案したところ、賑わいづくりに資するということで国に認められたものです。 ② 賑わいについては、そのイベントの大きさによって、例えば、今年開かれる大阪万博のような賑わいもありますし、船岡城址公園の桜の季節などの賑わい等それぞれ賑わいに対する考え方は違います。 ③ 子ども遊び場についてですが、先ほど誰かが言っていましたけど、確かに日中は子どもたちが学校や保育所等に行っていますので、日中、小さな子供たちはほとんど来ません。これは図書館でも同じです。しかし、週末になると、子ども連れの若いファミリーたちが室内子どもの遊び場を求めている、全国的に自治体への設置要望がなされています。仙台市でも先日陳情活動が行われました。室内子ども遊び場の方が今の時代に合っていて、人が集まりやすいということで企画したものです。 ④ ふるさと納税ですが、皆さんが知らないのは当然なのですが、ふるさと納税はそのエリアで作ったものでないと駄目だということが決められています。気仙沼市がなぜ伸びているかというと水産加工業があって、最終商品が作れるからです。柴田町で作っている最終商品は、牛タンとパン、米、漬物等です。そういう背景の違いも考えていただかないといけないということです。実は、柴田町に牛タンの製造工場がなかつ

質 問 項 目	質 問 内 容	当 日 回 答 【再 検 討 結 果】
		たものですから、はらからさんをお願いして工場を作ってもらった経緯があります。 ⑤ 柴田町はお金がないとお話がありましたけど、これは、財政構造に問題があるからです。いつもお話ししていますが、白石市は柴田町より6 0 0 0人人口が少ないのに予算規模が2 0 億円多いのです。角田市は1 万人人口が少ないのに1 5 億円多いのです。こうした根本的な財政問題は町長1 人の力ではどうにもなりません。ですから国会議員や県議会議員など、与野党問わず地方対国の関係で財政構造を変えてもらわないと、対応できなくなってしまう。 ⑥ 今までは道路を作ったり、学校を作ったりと、これらはおおむね単年度で予算が完結しますが、社会保障の場合は、ずっと続いていき、これまで右肩上がり伸びてきているため、経常経費の増加につながり、財政を圧迫させているところに問題があることをご理解いただきたいと思います。
	(3) 齊藤博記念文庫を今後どういうふうを活用するのか教えてください。今のままの状態では入りにくいので、その辺をどうするのか、今後の計画があればお聞きしたいです。	① ご遺族の方から、「閲覧という部分まではちょっとお控え願いたい。」というお申し出がありましたので、現在の取り扱いになっています。質問があった通り、様々な分野の書籍があり、また、大変重要なものがたくさんあります。 ② 利用に関しては、図書館側に目録がありますので、まずはそこで確認していただき、利用していただくようになります。今後、その辺も含めて、できるだけ有効活用できるように工夫して参ります。